

エフピー
FP療法を受けられる
患者さんご家族の方へ

監修

大阪公立大学医学部附属病院

消化器内科 准教授 平良 高一 先生

薬剤部 主査 高橋 正也 先生

FP療法を受けられる 患者さんご家族の方へ

あなたがFP療法を受けられるのは
下記の治療のためです

☐ 食道がん

☐ 頭頸部がん

Contents

化学療法とは	4
FP療法とは	4
FP療法の治療スケジュール	5
点滴中に注意すること	10
副作用について	11
副作用の特徴と対策	12
治療日誌	22

化学療法とは

化学療法は、抗がん剤を使った治療のことで、薬物療法とも呼ばれます。点滴などで投与された抗がん剤は、血液と一緒に全身に行き渡り、全身に潜んでいるがん細胞を攻撃することができます。

FP療法とは

今回治療を受けられる「FP(エフピー)療法」は、フルオロウラシルとシスプラチンの2つの抗がん剤を用いる治療です。患者さんによっては、他の抗がん剤も使用して合計3剤で治療したり、放射線の治療を組み合わせたりすることがあります。

どのような治療を行うかは、主治医にお尋ねください。

FP療法に使用する薬

●フルオロウラシル

がん細胞が増殖する際に必要な遺伝子(DNA)の合成を妨げ、がん細胞の増殖を抑制します。

●シスプラチン

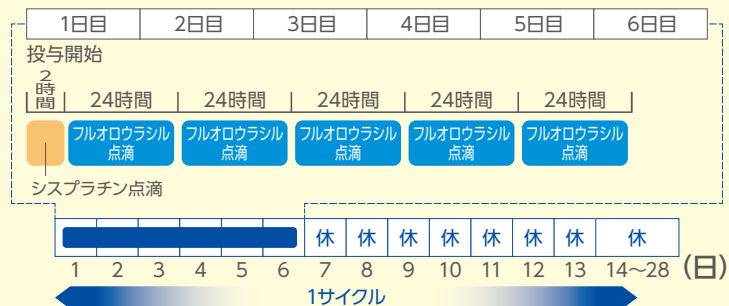
フルオロウラシルとは異なる仕組みで遺伝子(DNA)の合成を妨げ、がん細胞の増殖を抑制します。

食道がん

FP療法の治療スケジュール

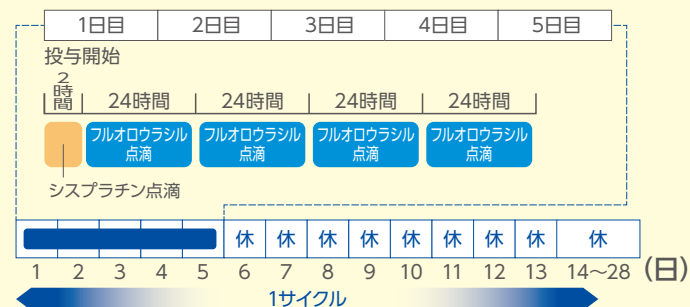
食道がんのFP療法の治療スケジュールは、下記の通りになります。患者さんの状態によりスケジュールや投与時間の変更になることもありますので、詳しくは主治医にご確認ください。

FP療法のみを行う場合



▶ 1回の治療には約6日間かかります。
この治療を4週間ごとに行います(術前療法は3週間ごと)。

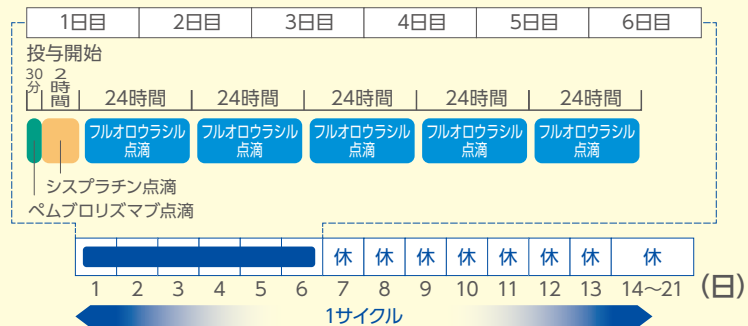
放射線治療を同時に行う場合



▶ 1回の治療には約5日間かかります。この治療を4週間ごとに行います。
放射線治療のスケジュールは、主治医にお尋ねください。

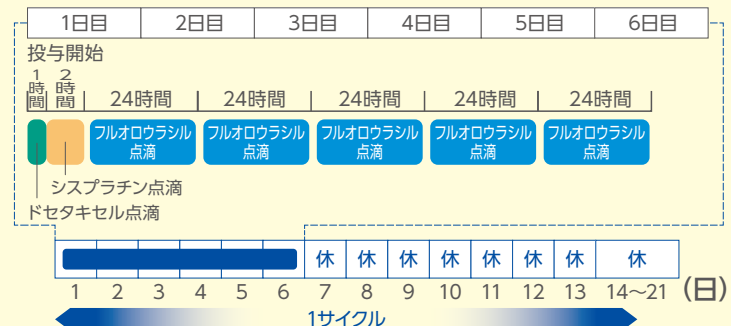
FP療法の治療スケジュール

ペムブロリズマブを併用する場合



▶ 1回の治療には約6日間かかります。この治療を3週間ごとに行います。

ドセタキセルを併用する場合



▶ 1回の治療には約6日間かかります。この治療を3週間ごとに行います。

ニボルマブを併用する場合



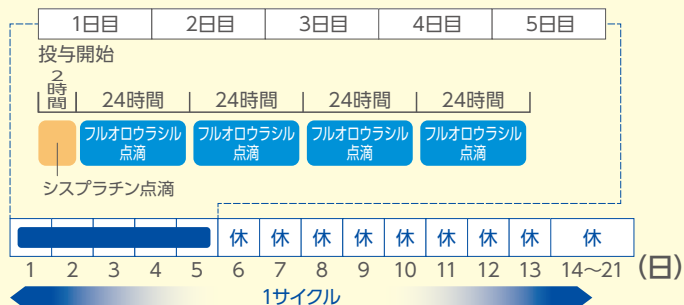
▶ 1回の治療には約7日間かかります。最初の6日間と15日目に点滴を行います。この治療を4週間ごとに行います。



FP療法の治療スケジュール

頭頸部がんのFP療法の治療スケジュールは、下記の通りになります。
患者さんの状態によりスケジュールが変更になることもありますので、
詳しくは主治医にご確認ください。

FP療法のみを行う場合



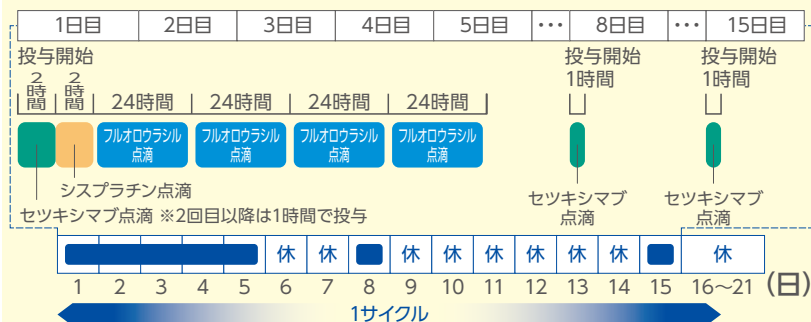
▶ 1回の治療には約5日間かかります。
この治療を3週間ごとに行います。

ペムブロリズマブを併用する場合



▶ 1回の治療には約5日間かかります。この治療を3週間ごとに行います。

セツキシマブを併用する場合



▶ 1回の治療には約7日間かかります。最初の5日間と8日目、15日目にも点滴を行います。
この治療を3週間ごとに行います。

点滴中に注意すること

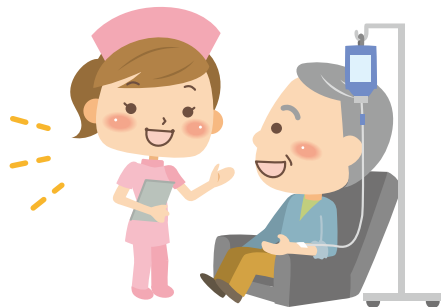
点滴を安全に行うために、点滴中は体を大きく動かさず安静にし、下記のことに注意してください。

点滴中に下記のような症状がみられましたら、**すぐに医療スタッフへお声がけください。**

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| ☐ 皮膚のかゆみ | ☐ のどのかゆみ |
| ☐ 蕁麻疹 | ☐ 息苦しさ |
| ☐ 声のかすれ | ☐ 動悸 |
| ☐ くしゃみ | ☐ 意識の混濁 |

点滴の針を刺している部位に下記のような症状がみられましたら、**すぐに医療スタッフへお声がけください。**

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| ☐ 痛み | ☐ 皮膚が赤い |
| ☐ 腫れ | ☐ 違和感 |



副作用について

患者さんにより個人差はありますが、FP療法を受けると何らかの副作用が起こることがあります。

FP療法により起こりやすい副作用とおよその時期は下記の通りです。これらを目安に各副作用の対策を行うことで、症状を和らげ、より良い治療を続けることができます。

次のページからは、各副作用の特徴と対策を記載していますので参考にしてください。

起こりやすい副作用と、およその時期

自覚症状がある副作用			
アレルギー 下痢	吐き気 嘔吐 食欲不振 けん怠感 下痢	腎障害 感染症 出血しやすい 口内炎 下痢	聴力障害
点滴当日	当日～ 数日	数日～ 数週間	数週間～ 数ヵ月
		白血球減少 血小板減少	
自覚症状が現れにくい副作用			

副作用の特徴と対策

吐き気／嘔吐／食欲不振

起こりやすい時期

点滴当日から数日間に、多くの患者さんに起こります。

症 状

- 吐き気がする
- 嘔吐する
- 食欲がない
- 食べられる時に少量ずつ食べましょう。
- 消化の悪いものは避けましょう。
- 口当たりや飲み込みやすさなど、食べやすさを工夫してみましょう。



❶ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 食事や水分をほとんど摂ることができない。

感染症(白血球減少)

起こりやすい時期

点滴後1週間から2週間頃に、起こることがあります。

症 状

- 発熱
- 寒気
- 咳
- のどの腫れ・痛み
- 手洗い・うがい・マスクなどの風邪対策をしましょう。



❶ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 38℃を超える発熱がある。

出血しやすい(血小板減少)

起こりやすい時期

点滴後1週間から2週間頃に、起こることがあります。

症 状

- 出血しやすい(口や鼻など)
- 出血が止まりにくい
- 内出血しやすい



❶ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 上記のような症状がある。

口内炎

起こりやすい時期

点滴後数日から数週間で、起こることがあります。

症 状

- 口の中が
 - 腫れる
 - ただれる
 - 痛む
- 口の中を清潔に保ち、うるおった状態を保ちましょう。



❶ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 強い痛みがある。 ●痛みで食事や水分摂取することが難しい。

副作用の特徴と対策

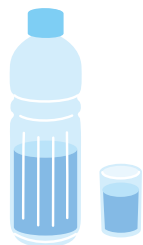
下痢

起こりやすい時期

点滴当日から数週間に、起こることがあります。

症 状

- 軟便・水様便になる
- 腹痛
- 1日の排便の回数が増える
- 脱水症状にならないよう、こまめに水分をとりましょう。
- 消化のよいものを食べましょう。



❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 治療前に比べて1日7回以上、排便が増えている。

腎障害

起こりやすい時期

点滴後数日から数週間に、起こることがあります。

症 状

- 体重増加
- 浮腫（むくみ） など



● こまめに水分を取りましょう

❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 尿が少ない、ほとんど出ないなど上記の症状がある。

けん怠感

起こりやすい時期

点滴後数日で、起こることがあります。

症 状

- 常に疲れる
- だるい
- 体が重い
- 何もする気が起きない
- 睡眠や休息を十分にとりましょう。
- できる範囲で、軽く体を動かしましょう。



❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- けん怠感や疲労感の症状が強い場合や改善しない場合

聴力障害

起こりやすい時期

点滴後数週間から数カ月後に、起こることがあります。

症 状

- 聞こえづらい
＊ 高い音が聞こえづらくなること
が多いです。
- 耳鳴り
- 耳がつまった感じがする。



❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 上記のような症状がある。

副作用の特徴と対策

ドセタキセルを併用する場合

特徴的な副作用

脱毛

起こりやすい時期

点滴後2週間前後で、起こることがあります。

症 状

- 髪の毛が抜ける
- 体毛が抜ける
- 治療開始前に髪の毛を短くしておく、脱毛時の手入れがしやすくなります。
- 毛髪や頭皮に負担をかけないようにしましょう。
 - ・ 毛先の柔らかいヘアブラシを使用する。
 - ・ ドライヤーの温度を低めにする。
 - ・ パーマ、毛染めは避ける。
 - ・ シャンプーは手に取り、泡立ててから優しく洗髪する。



関節痛・筋肉痛

起こりやすい時期

点滴後2、3日から1週間で、起こることがあります。

症 状

- 全身の筋肉痛
- 肘、膝などの大きな関節の痛み



- 入浴やマッサージで血行をよくしましょう。

① 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください
● つらいと感じるほどの強い痛みがある。

手足のしびれ・痛み(末梢神経障害)

起こりやすい時期

点滴後数日から数週間に、起こることがあります。
点滴回数が増えるにつれ、起こりやすくなります。

症 状

- 手足が
- しびれる
 - ちくちくする
 - 感覚がにぶい



① 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください
● 上記のような症状がある。

副作用の特徴と対策

セツキシマブを併用する場合

特徴的な副作用

インフュージョンリアクション

起こりやすい時期

点滴中・点滴当日に、起こることがあります。

症 状

- 皮膚やのどのかゆみ
- 悪寒
- 発熱
- 息苦しさ
- 動悸 など



❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 上記のような症状がある。

皮膚障害

起こりやすい時期

点滴後数日から数週間に、起こることがあります。

症 状

- にきびのような発疹
- 皮膚の乾燥
- 手足の爪周囲の腫れ・痛み



- こまめに保湿して、乾燥を防ぎ肌のバリア機能を保ちましょう。
- 体は優しく洗って、清潔に保ちましょう。

❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 痛みを伴う皮膚症状がある。
- 生活に支障を伴う皮膚症状がある。

副作用の特徴と対策

ペムブロリズマブもしくは
ニボルマブを併用する場合

特徴的な副作用

起こりやすい時期 治療中は、いつでも起こる可能性があります。

❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 間質性肺炎：息切れ、痰の出ない咳（から咳）、発熱
- 1型糖尿病：喉が渇く、水分を多く摂取、尿量の増加、頻尿
- 腸炎：頻回の下痢、血便、ねばりけのある便
- 重症筋無力症：まぶたが下がる、力が入らない、ろれつが回らない、物が二重に見える
- 筋炎・横紋筋融解症：力が入らない、筋肉のこわばり、赤褐色の尿
- 神経障害：手足に力が入らない、しびれ
- 皮膚障害：発疹、掻痒感
- 内分泌障害：体重減少・増加、疲労感、食欲低下など
- 腎機能障害：むくみ、血尿、尿量の減少、体重増加
- 肝機能障害：疲れやすい、だるい、発熱、白眼や皮膚が黄色くなる
- 膵炎：腹痛、背中の痛み、疲れやすい、だるい
- 心筋炎：胸の痛み、発熱、息切れ
- 脳炎・髄膜炎：頭痛、嘔吐、意識障害、けいれん、首が前に曲げられない
- 血液障害：内出血、出血が止まりにくい、貧血、感染症

放射線治療を同時に受ける場合

特徴的な副作用

食道炎（放射線治療を受けられる方）

起こりやすい時期

放射線開始後数日から数週間に、多くの患者さんに起こります。

症 状

- 胸やけ
- 胸部の違和感
- 胸部の痛み
- 食事を飲み込み時の痛み



- お酒・たばこは控えましょう。
- 刺激の強い食事は控えましょう。

❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 上記のような症状がある

心臓・肺・骨などの副作用（放射線治療を受けられる方）

起こりやすい時期

放射線開始後数週間から数カ月以降にも、起こることがあります。

症 状

- 動悸
- 呼吸困難
- 息切れ
- 背中の痛み
- 咳
- など



❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 上記のような症状がある

治療日誌

治療中は、ご自身の体調を管理するとともに、主治医に体調をできるだけ治療中に感じた体調の変化や気になることを治療日誌に記入し、受診の際に

正確に伝えることが大切です。
主治医に見せてください。

記入例

通院日に
○をつけて
ください。

日付	6 / 10	6 / 11	6 / 12
投与開始からの日数	1 日目	2 日目	3 日目
体温(℃)	36.3 ℃	36.4 ℃	36.3 ℃
体重(kg)	63.4 kg	63.2 kg	63.0 kg
食事の量			
口内炎	1	2	1
食道炎			
吐き気・嘔吐			
排便回数			
便の状態			
倦怠感			
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)	口の中が痛くて 少し食べにくい		

症状がある場合は
症状対照表の番号を記入してください。

6 / 13	6 / 14	/	/
4 日目	5 日目	日目	日目
36.2 ℃	36.4 ℃	℃	℃
63.4 kg	63.2 kg	kg	kg
1	1		

治療日誌

日付	/	/	/
投与開始からの日数	日目	日目	日目
体温(℃)	℃	℃	℃
体重(kg)	kg	kg	kg
食事の量			
口内炎			
食道炎			
吐き気・嘔吐			
排便回数			
便の状態			
倦怠感			
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)			

/	/	/	/
日目	日目	日目	日目
℃	℃	℃	℃
kg	kg	kg	kg

治療日誌

日付	/	/	/
投与開始からの日数	日目	日目	日目
体温(℃)	℃	℃	℃
体重(kg)	kg	kg	kg
食事の量			
口内炎			
食道炎			
吐き気・嘔吐			
排便回数			
便の状態			
倦怠感			
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)			

/	/	/	/
日目	日目	日目	日目
℃	℃	℃	℃
kg	kg	kg	kg

治療日誌

日付	/	/	/
投与開始からの日数	日目	日目	日目
体温(℃)	℃	℃	℃
体重(kg)	kg	kg	kg
食事の量			
口内炎			
食道炎			
吐き気・嘔吐			
排便回数			
便の状態			
倦怠感			
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)			

/	/	/	/
日目	日目	日目	日目
℃	℃	℃	℃
kg	kg	kg	kg

治療日誌

日付	/	/	/
投与開始からの日数	日目	日目	日目
体温(℃)	℃	℃	℃
体重(kg)	kg	kg	kg
食事の量			
口内炎			
食道炎			
吐き気・嘔吐			
排便回数			
便の状態			
倦怠感			
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)			

/	/	/	/
日目	日目	日目	日目
℃	℃	℃	℃
kg	kg	kg	kg

治療日誌

日付	/	/	/
投与開始からの日数	日目	日目	日目
体温(℃)	℃	℃	℃
体重(kg)	kg	kg	kg
食事の量			
口内炎			
食道炎			
吐き気・嘔吐			
排便回数			
便の状態			
倦怠感			
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)			

/	/	/	/
日目	日目	日目	日目
℃	℃	℃	℃
kg	kg	kg	kg

治療日誌

日付	/	/	/
投与開始からの日数	日目	日目	日目
体温(℃)	℃	℃	℃
体重(kg)	kg	kg	kg
食事の量			
口内炎			
食道炎			
吐き気・嘔吐			
排便回数			
便の状態			
倦怠感			
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)			

/	/	/	/
日目	日目	日目	日目
℃	℃	℃	℃
kg	kg	kg	kg

治療日誌

日付	/	/	/
投与開始からの日数	日目	日目	日目
体温(℃)	℃	℃	℃
体重(kg)	kg	kg	kg
食事の量			
口内炎			
食道炎			
吐き気・嘔吐			
排便回数			
便の状態			
倦怠感			
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)			

/	/	/	/
日目	日目	日目	日目
℃	℃	℃	℃
kg	kg	kg	kg

治療日誌

日付	/	/	/
投与開始からの日数	日目	日目	日目
体温(℃)	℃	℃	℃
体重(kg)	kg	kg	kg
食事の量			
口内炎			
食道炎			
吐き気・嘔吐			
排便回数			
便の状態			
倦怠感			
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)			

/	/	/	/
日目	日目	日目	日目
℃	℃	℃	℃
kg	kg	kg	kg

治療日誌

日付	/	/	/
投与開始からの日数	日目	日目	日目
体温(℃)	℃	℃	℃
体重(kg)	kg	kg	kg
食事の量			
口内炎			
食道炎			
吐き気・嘔吐			
排便回数			
便の状態			
倦怠感			
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)			

/	/	/	/
日目	日目	日目	日目
℃	℃	℃	℃
kg	kg	kg	kg

治療日誌

日付	/	/	/
投与開始からの日数	日目	日目	日目
体温(℃)	℃	℃	℃
体重(kg)	kg	kg	kg
食事の量			
口内炎			
食道炎			
吐き気・嘔吐			
排便回数			
便の状態			
倦怠感			
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)			

/	/	/	/
日目	日目	日目	日目
℃	℃	℃	℃
kg	kg	kg	kg

治療日誌

日付	/	/	/
投与開始からの日数	日目	日目	日目
体温(℃)	℃	℃	℃
体重(kg)	kg	kg	kg
食事の量			
口内炎			
食道炎			
吐き気・嘔吐			
排便回数			
便の状態			
倦怠感			
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)			

/	/	/	/
日目	日目	日目	日目
℃	℃	℃	℃
kg	kg	kg	kg

治療日誌

日付	/	/	/
投与開始からの日数	日目	日目	日目
体温(℃)	℃	℃	℃
体重(kg)	kg	kg	kg
食事の量			
口内炎			
食道炎			
吐き気・嘔吐			
排便回数			
便の状態			
倦怠感			
メモ (気になること、 主治医に伝えたい ことなど)			

/	/	/	/
日目	日目	日目	日目
℃	℃	℃	℃
kg	kg	kg	kg

治療日誌の症状対照表

番号	1	2	3
食事の量	食欲が無い	体重が減少するほど食事量が減っている	明らかに体重が減少し、食べ物も水分もとることができない
口内炎	口内炎はあるが症状は無い、もしくは軽度	症状はあるが食事に支障が出ない程度	痛みで食事ができない
食道炎	検査などでは炎症がみられるが、症状は無い	症状があり、飲み込みづらく、食事だけで栄養を摂ることが難しい	飲み込むことが困難で食事ができない
吐き気・嘔吐	吐き気はあるが、食生活に影響はない	吐き気があり、食事で栄養や水分は接種できるが、体重の減少がある	吐き気のため、食事で栄養や水分をほとんど摂ることができない
排便回数	普段と比べて1日あたりの排便回数が3回以内の増加	普段と比べて1日あたりの排便回数が4～6回増加、もしくは身の回り以外の日常生活動作が困難	普段と比べて1日当たりの排便回数が7回以上増加、もしくは身の回りの日常生活動作も困難
便の状態	かたい便	やわらかい便	水のような便
倦怠感	だるさがある	身の回り以外の日常生活の動作ができないぐらいだるい	身の回りの日常生活動作もできないぐらいにだるい

緊急の連絡先

病院・医院名

電話番号

担当医師名

科

お問い合わせ窓口

memo

発行：2023 年

監修：大阪公立大学医学部附属病院
消化器内科 准教授 平良 高一 先生
薬剤部 主査 高橋 正也 先生

提供：東和薬品株式会社

本冊子の内容を許可なしに複製、複写（コピーなど）、転載することは法律で認められた場合を除き禁じられています。